

◆令和7年1月～9月事故の状況◆

【事故の特徴】

- ☆労働災害と公衆災害を合わせた事故全体の件数は、31件発生しており過去5年平均に比べ22件減少しています。
- ☆7～9月は1～6月と比べて事故発生件数が増加しています。
- ☆休業4日以上労働災害は9件発生し、死亡事故はありませんでした。

- 各地でクマの目撃情報が相次いで報道されています。とくに山間部の工事現場はリスクが高いですが、人里でも安心できません。被害にあわないよう対策をご検討ください。
- これからの季節は日没が早くなり、寒さも徐々に厳しくなるなど、作業現場は大きな影響を受けます。
- 本格的な冬が来る前に、必要な用具等の確保、設備の点検やタイヤ交換、冬季環境下における労働災害・公衆災害の安全教育等を行いましょう。

※北陸地方整備局発注の直轄工事を対象としています。

※使用している数値は速報値であるため、今後変更となる可能性があります。

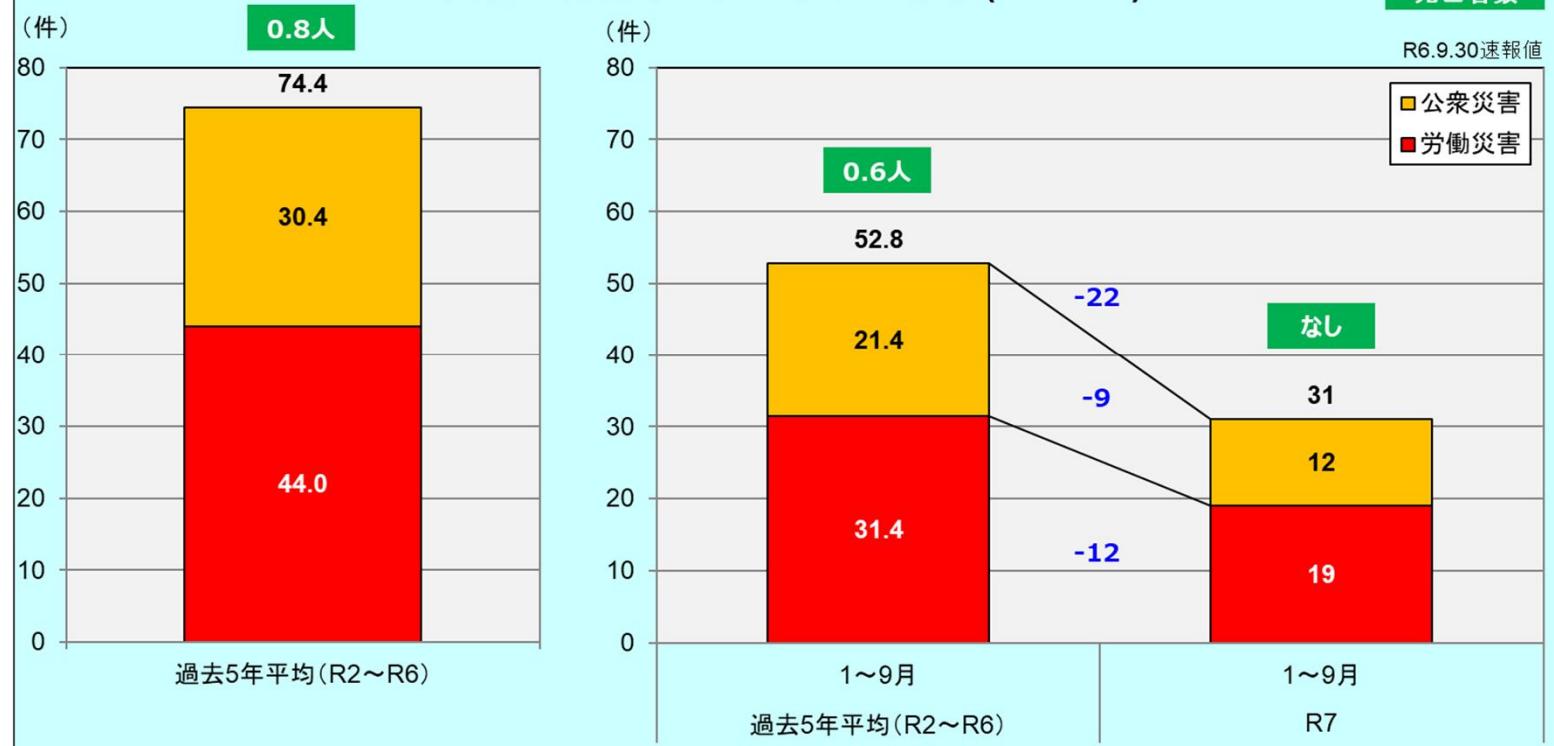
～工事事故の発生状況～

令和7年1月から9月までの事故件数31件で過去5年平均と比較する22件少ない状況です。労働災害は19件、公衆災害は12件発生しており、過去5年平均と比較してともに減少しています。

災害区分別事故発生状況の推移(R2～R7)

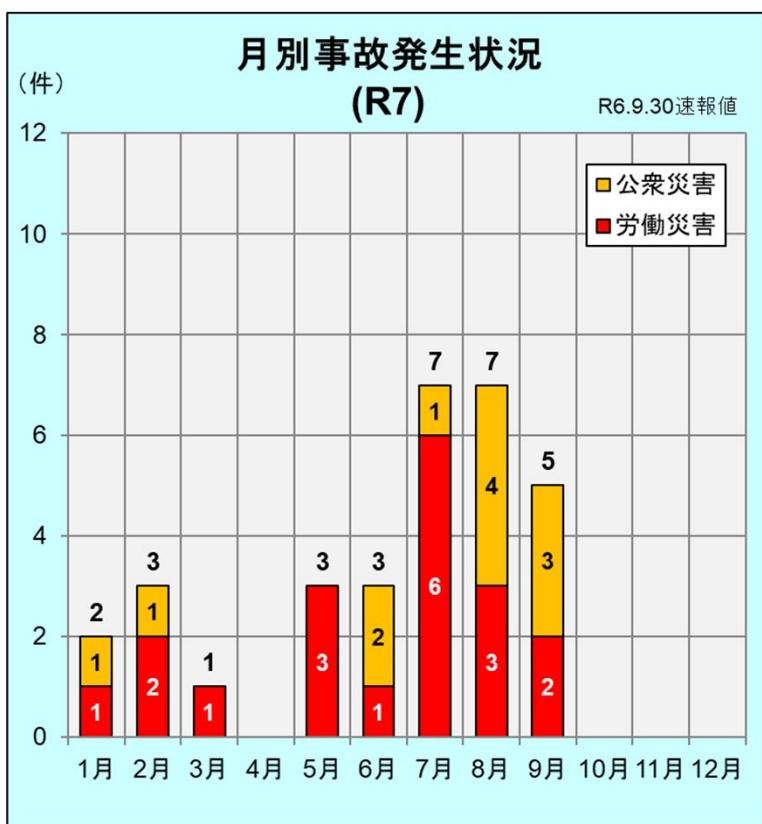
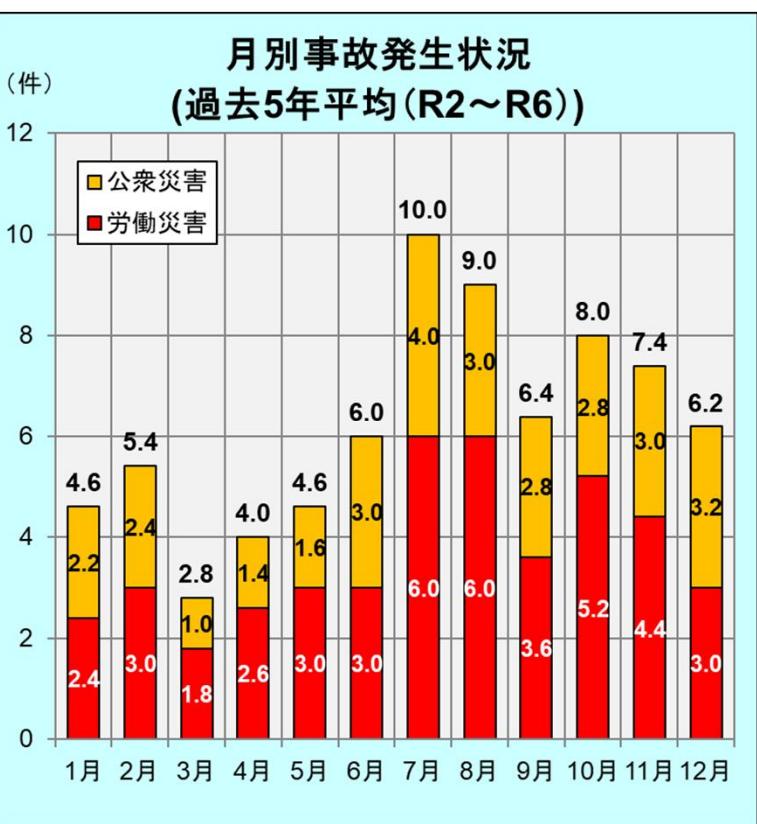
死亡者数

R6.9.30速報値



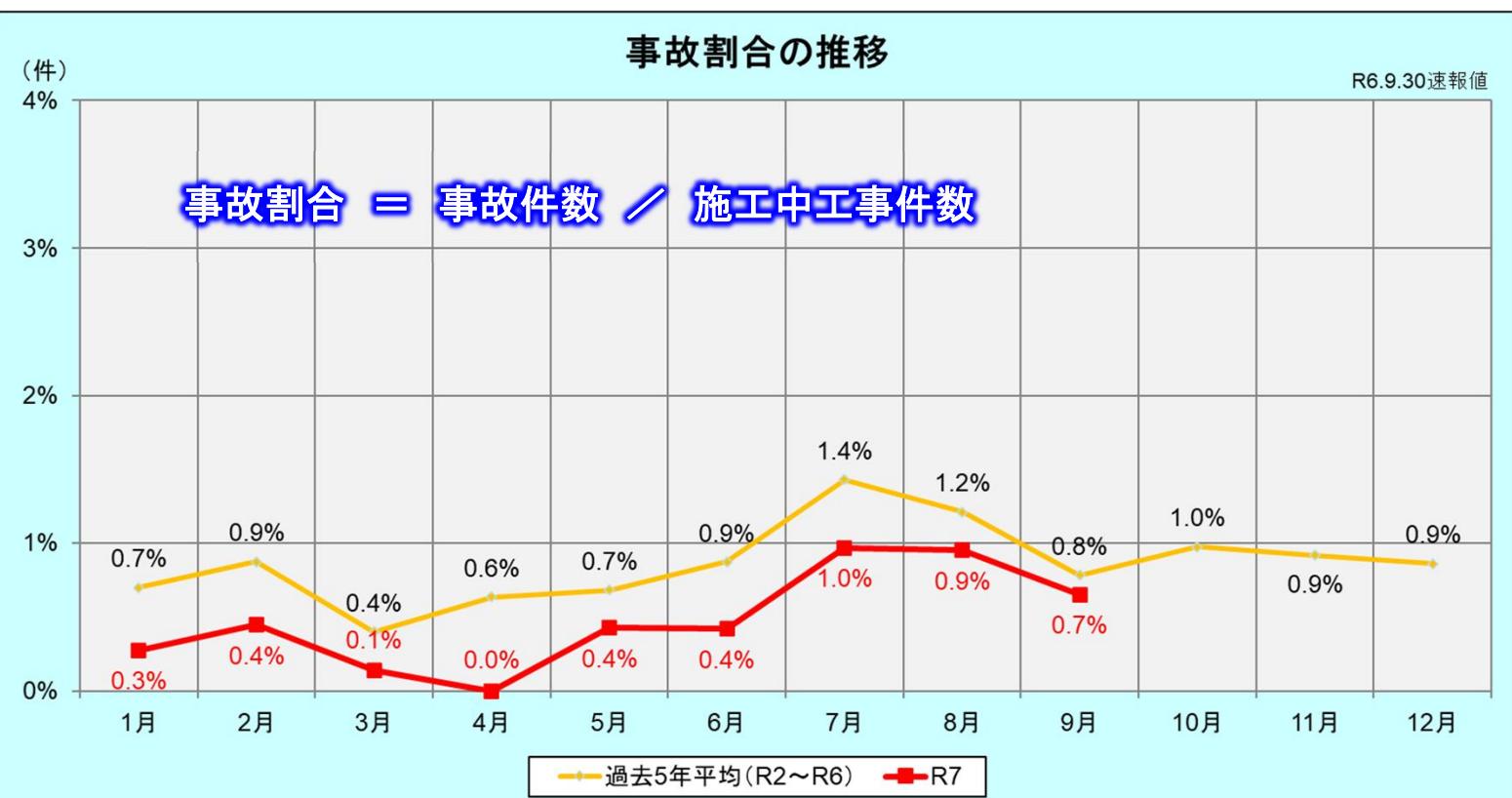
・月別の事故発生件数

過去5年平均と比較すると、全ての月で減少しています。



・事故割合

過去5年平均の事故割合の推移と比較すると全ての月で減少しています。

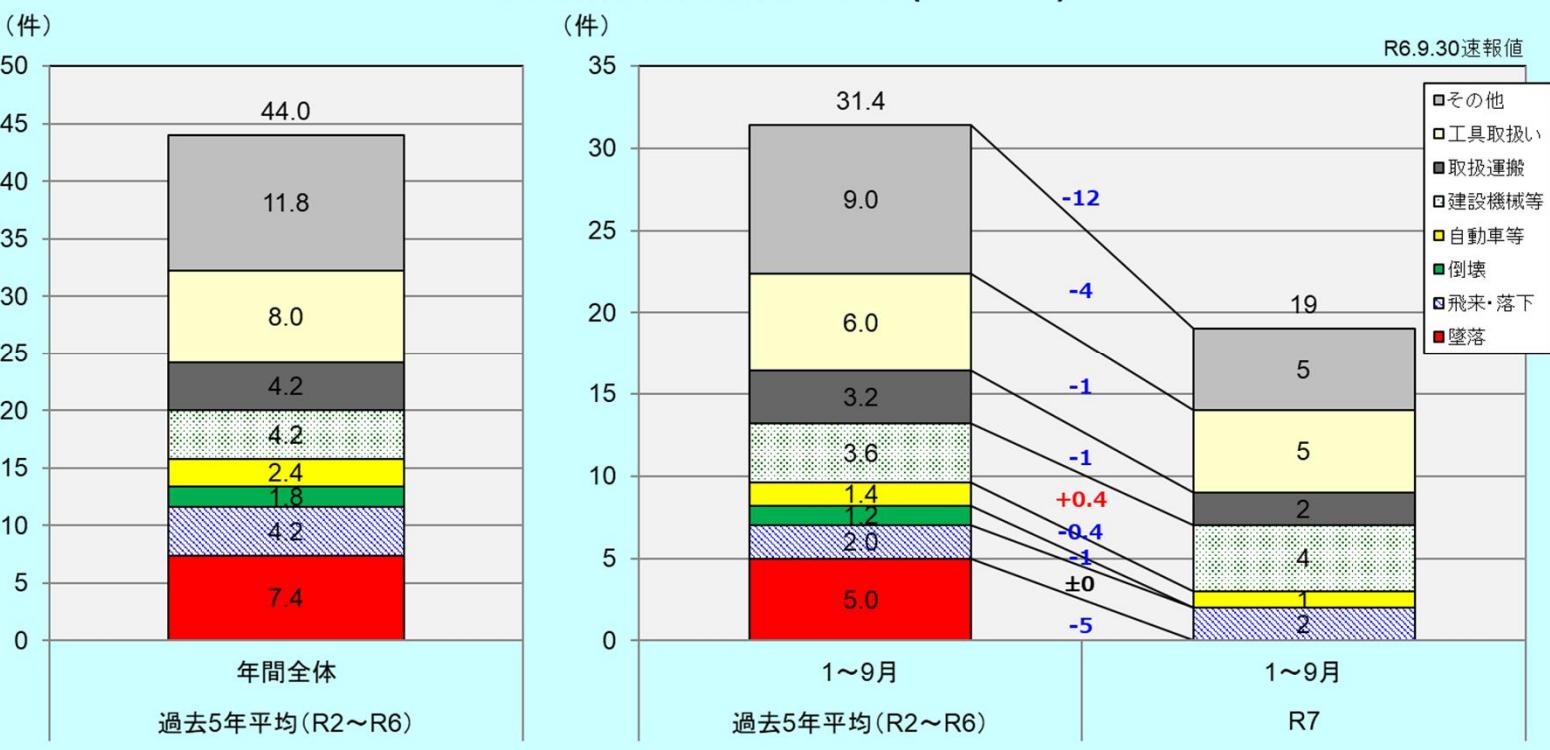


・労働災害の原因別事故発生件数

令和7年1月から9月までの労働災害は過去5年平均と比較すると減少しています。

過去5年平均と比べ、転落、その他が大きく減少しています。

原因別労働災害発生状況(R2～R7)

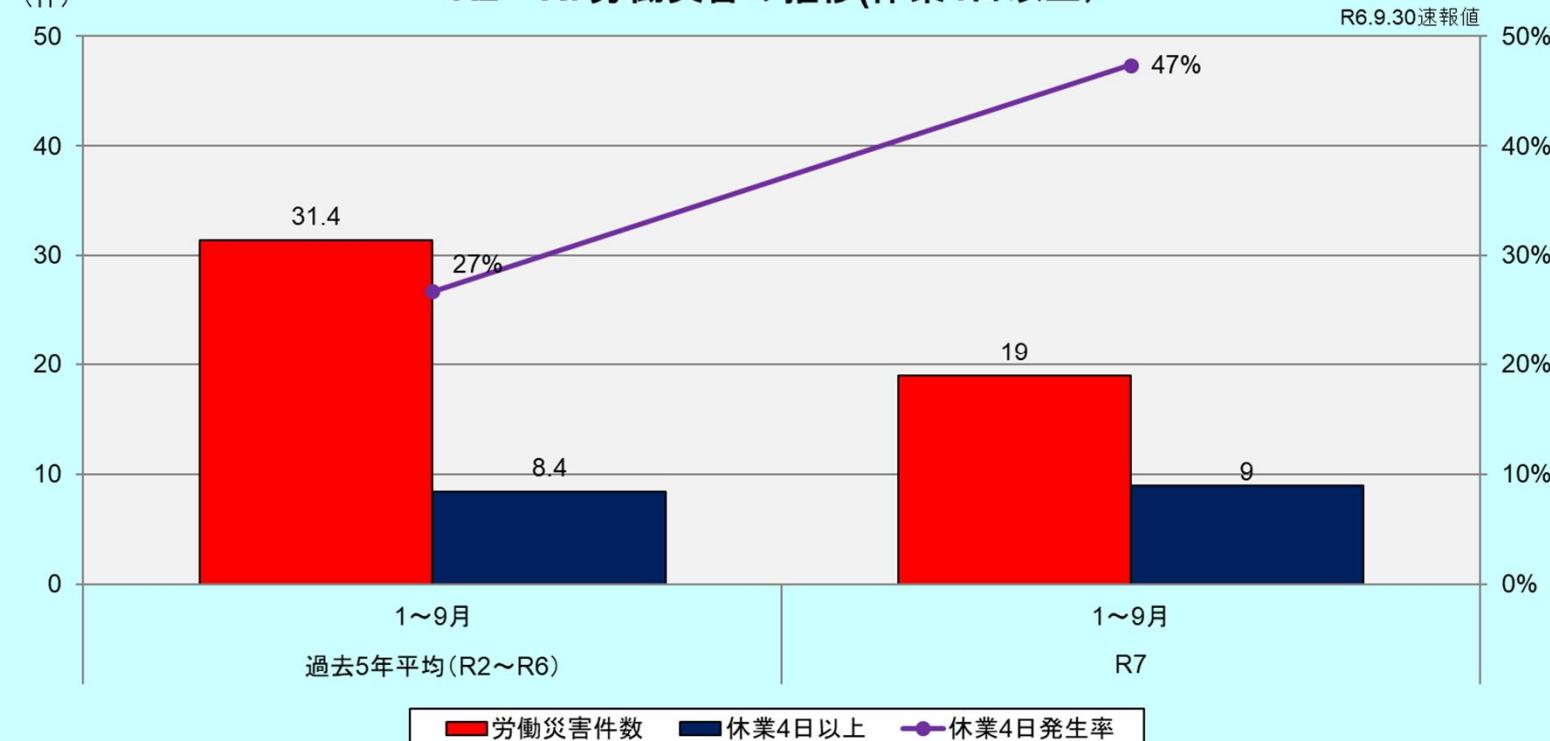


・休業4日以上の事故発生状況

今年1月から9月までの労働災害19件のうち、9件が休業4日以上の事故となっています。

過去5年平均と比べると重大事故の割合は22%から47%に増加しています。

R2～R7労働災害の推移(休業4日以上)

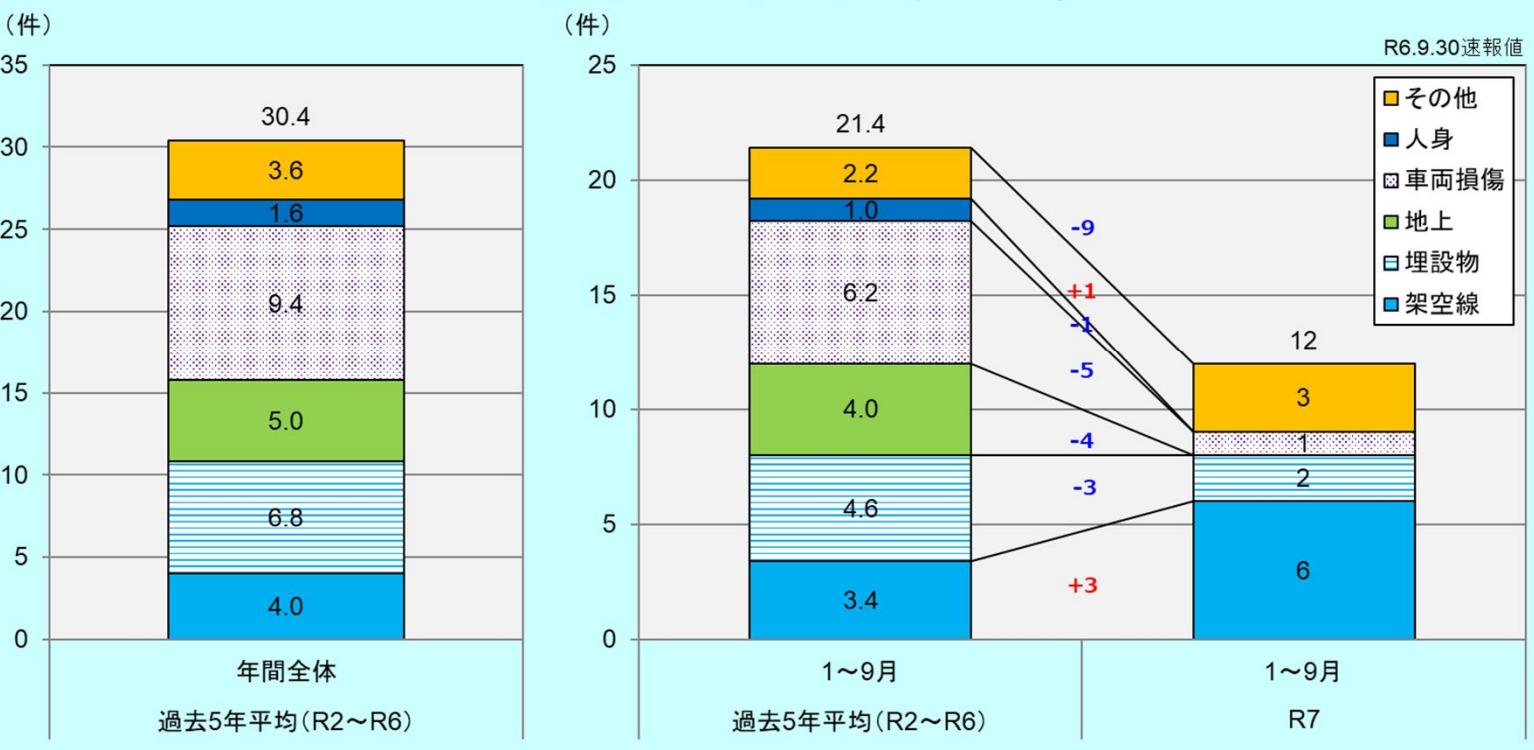


・公衆災害の原因別発生状況

令和7年1月から9月までの公衆災害は過去5年平均と比較すると減少しています。

過去5年平均と比べ、架空線、その他が増加、それ以外は減少しています。

公衆災害原因別発生状況(R2～R7)



休業4日以上は建設工事事故データベース（SAS）に登録

- 建設工事事故データベース（SAS）は、地方整備局・都道府県・政令指定都市・機構等が発注する公共工事で発生した一定規模以上の事故の事故報告データの集合体です。収集されたデータは、建設工事事故対策検討委員会や発注者において、工事事故防止に向けた対策の検討・立案に利用しています。
- 休業4日以上の建設工事事故等を対象に、登録に必要な事故番号、パスワードを発注担当課長等に通知しますので、受注者・発注者は、インターネットを利用して登録（入力）してください。

✓ <https://sas.hrr.mlit.go.jp/>



- 登録に関する詳細については、ホームページ内の「SASのガイドライン」を参照して下さい。

【問合せ先】 北陸地方整備局 企画部 技術検査官 白井

安全優良受注者表彰が行われました

令和7年9月24日(水)に「北陸地方整備局 安全管理優良受注者表彰」が北陸地方整備局において行われました。

建設工事における労働災害の防止に向けて、北陸地方整備局所管の工事等に関し、その安全管理及び労働災害防止対策が特に優秀であって他の模範となる受注者を「安全管理優良受注者」として表彰しています。

今回は、令和6年度に完成した北陸地方整備局発注工事の受注者（311者）の中から、15者を安全管理優良受注者として表彰されました。

受賞した各社における安全に関する取組をまとめた事例集を整備局のホームページで公開していますので、各現場における安全管理の参考としていただければと思います。



https://www.hrr.mlit.go.jp/gijyutu/yuuryou/R7/R7_jireishu.pdf



令和7年度 表彰

ドローン落下事故が増えています

7月と10月に各事務所へ注意喚起を発出しているが、ドローンの落下事故が続いている。事故の概要は「資材を運搬していたドローンが荷下ろし後引き返す途中で落下」、「ドローンレーザによる計測中に送電線に接触し落下」となっています。

人身事故の発生はしていませんが、今後も工事、業務において、ドローンを使用する機会が増えてくると思いますので、ドローンの飛行を予定している場合は、作業計画書を再確認し、ドローンが落下する事故が発生しないよう、注意をお願いします。



落下したドローン

架空線・埋設物等への 接触・切断事故防止対策の徹底

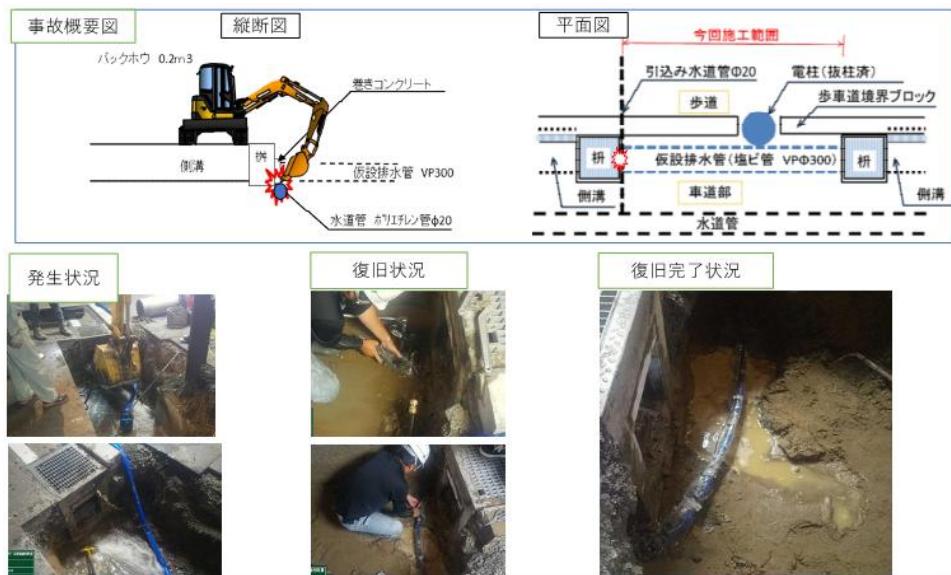
今年度の工事事故の傾向として、架空線、埋設物等への接触、切断の事故が多くなっています。掘削を行う前には、十分に情報の収集、試掘を行い埋設物への接触、切断事故の防止をお願いします。

また、バックホウでの作業時に手元に気を取られ、架空線に接触する等の事故も発生しています。作業前に周辺の状況を確認し、接触防止の必要な措置を行い、架空線へ接触しないよう気を付けましょう。

架空線、埋設物等の切断事故は社会的影響が極めて大きいことから、接触、切断事故の防止対策の徹底をお願いします。

<事故事例>

- ・電柱撤去後に側溝を設置するため、仮設配水管の撤去作業を行っていた。
- ・集水枠と仮設配水管の接合部の巻きコンクリートを撤去した際に巻きコンクリートの下にあった水道管を破損。
- ・埋設物を想定し人力にて施工し、既設枠底付け面まで掘削を行っていたが、埋設シートも無く、管路も確認できなかつたため、バックホウで作業を行った。



クマによる被害に遭わないよう 十分に注意をしましょう

今年度は、全国でクマの出没、人身被害が増えています。

クマの活動が活発となる早朝や夕方は特に注意が必要です。万一、クマに出会ったら、背を向けずにゆっくりとその場を離れるようにしましょう。

各県のHPにおいてクマに対する注意喚起や、目撃情報をまとめた、出没マップ等の情報提供がされていますので、被害に遭うことのないよう、各職場、現場において確認と注意喚起をお願いします。

【注意情報】

環境省

<https://www.env.go.jp/nature/choju/effort/effort12/effort12.html>

